

【これまでの取組経緯】

平成27年9月関東・東北豪雨により被災
※名簿情報が更新できていなかった。

平成29年7月 避難行動要支援者連携会議
延べ10回開催

平成29年9月 避難行動要支援者名簿作成

平成31年3月 地域防災計画改定
マニュアル作成

令和元年11月 情報提供意思確認開始

令和2年9月 協力者説明会開催
個別計画作成の協力依頼

【避難行動要支援者マニュアル体制表】

業務担当部署	内 容
避難行動要支援者 担当（防災）	1. 名簿情報の作成・管理・更新 2. 避難支援プラン （個別避難計画）の管理 3. 災害情報伝達機器等整備 4. 避難所における資機材整備 5. 自主防災組織結成促進
個別避難計画担当 （福祉）	1. 避難行動要支援者の把握 2. 避難支援プラン （個別避難計画）の作成 3. 名簿の共有 4. 避難行動要支援者情報の 更新・管理
避難所整備担当／ 啓発・訓練担当 （防災・福祉）	1. 福祉避難所の指定・確保 2. バリアフリー化推進 3. サービス提供スタッフ確保 4. 物資の確保 5. 知識普及啓発や訓練サポート

【避難行動要支援者】 年2回更新

- ・名簿掲載者：9,501人（令和3年1月末現在）
- ・情報提供同意者：1,532人
- ・個別避難計画作成希望者：1,289人

【作成にむけて】

- ・支援協力者に十分伝わっているか？
- ・計画書の内容で避難可能か？
- ・本当に計画作成が必要なのは、誰？

協働宣言

1. 逃げ遅れゼロに向けた「地域の絆の強化」

災害発生時に地域で助け合い、自治会や防災・福祉部局、福祉専門職、自主防災組織、防災士連絡協議会などが支援体制を構築し、逃げ遅れゼロに向けた地域の絆の強化を目指す。

2. 「優先度合に応じた個別避難計画」の作成支援

数多くの避難行動要支援者がいる中で、優先度付けの考え方の整理・検討・優先度付けガイドラインを策定し、個別避難計画の作成支援を行う。

3. わがこととして災害に備える“みんなでマイ・タイムラインづくり”

災害を「ひとごと」ではなく「わがこと」として受け止め、災害時に自分のとるべき行動を地域全体で考え、的確な避難行動がとれるようみんなで「マイ・タイムライン」を作成する。

常総市・つくばみらい市

名簿情報
管理と活用

- 情報の劣化（年2回更新）
- 情報の共有（計画に直結）

日頃の
関わり

- 福祉専門職の情報活用
- 地域の協力必須

理解促進
必要性

- リーダー育成
- 作成会の本数増

マニュアル改定

【令和 3 年度課題の解消】

STEP 1

- 避難行動要支援者マニュアル改定

STEP2

- 地域ケア会議で作成会を実施
※ケア会議は、年間72回実施

STEP3

- 一斉避難訓練時に避難計画実効性を検証

【マニュアル体制の見直し】

担当部署	内 容
防災部局	1. 災害情報伝達機器等整備 2. 避難所における資機材整備 3. 自主防災組織結成促進 4. 名簿の共有
福祉部局	1. 避難行動要支援者の把握 2. 名簿情報の作成・管理・更新 3. 個別避難計画) 作成・管理 4. 避難行動要支援者情報更新・管理

